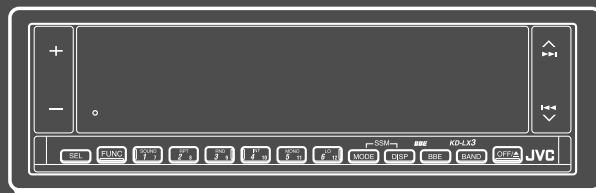


取扱説明書

JVC

KD-LX3

CDレシーバー



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
TEXT

BBE®

- お買い上げありがとうございます -

ご使用前にこの「取扱説明書」と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

目次

- 主な特長..... 2
- 安全上のご注意..... 3 ~ 7
- 各部の名前と働き..... 8 ~ 11
- リモコン(RM RK25)の使いかた 12 ~ 13
- 基本操作..... 14
- 音量・音質の調節..... 15 ~ 18
- 時計の合わせかた..... 19
- CDを聞く 20 ~ 22
- CDテキストについて 23
- ラジオを聞く..... 24 ~ 27
- CDチェンジャーのCDを聞く 28 ~ 30
- 他の機器の音を聞く..... 31
- CDの名前や放送局名などを表示させる..... 32 ~ 35
- PSM(Preferred Setting Mode)について..... 36 ~ 38
- 正しくお使いいただくために..... 39
- こんなときは..... 40 ~ 41
- 保証書とアフターサービス..... 42
- 主な仕様..... 43
- お手入れ..... 裏表紙

主な特長

- 電動フェース搭載のCDレシーバー
 - ・セキュリティ機構(エルカメレオン)
- 直接CDが出し入れできるCDプレーヤー
 - ・ダイレクト選曲
 - ・ランダム演奏/リピート演奏/イントロスキャン
 - ・8センチCD対応(アダプターなしでダイレクトイン)
 - ・CDテキスト対応
- 高音質1ビットDAC(D/Aコンバーター)
- 40W × 4 ハイパワーアンプ内蔵
- SSM搭載チューナーストログステーションメモリー
 - ・FM放送に限りSSMによる放送局のメモリーが可能
 - ・24局プリセット(FM⇒6局×2、AM⇒6局×2)
- BBEサウンドプロセッサー内蔵
- チェンジャーコントロール機能
 - ・12枚CDチェンジャー(CDテキスト対応のCH X1200など)
- 放送局名やディスク名・曲名を表示(英数字)
- マルチ電子コントロール(音量・音質)
- ライン入力端子×1、ライン出力端子×2、サブウーハー出力端子×1(RCAピン)
- 音楽に合わせて選べるサウンドコントロール
 - ・BEAT / ビートSOFT / ソフトPOP / ポップ
- ワイヤレスリモコン(RM RK25)付属

安全上のご注意

はじめにお読みください

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、障害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) はじめにお読みください

警告

本機はDC12V^{マイナス}⊖マイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してください。



- ・ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取付けしないでください。



- ・交通事故やけがの原因となります。

車体に穴を開けて取付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。



- ・交通事故や火災の原因となります。

車体のボルトやナットを使用して本機を取付ける場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



- ・これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

車体のボルトやナットを使用してアース線を接続するときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



- ・事故の原因となります。

警告

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。



- ・リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

本機を分解したり、改造しないでください。



分解禁止

- ・事故・火災・感電の原因となります。

自動車を運転中に音量調節等の操作をしないでください。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。



- ・事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

万一、異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。



- ・そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

安全上のご注意(つづき) はじめにお読みください

⚠ 注意

本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。

- ・安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。



必ず付属の部品を指定通り使用してください。

- ・指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして事故やけがの原因となることがあります。



雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取付は避けてください。

- ・本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。



振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取付は避けてください。

- ・外れて事故やけがの原因となることがあります。



本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。

- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



本機を不安定なところに取付けないでください。

- ・正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。



正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

- ・接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正常に動作することを確認してください。



車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないように注意してください。

- ・断線やショートにより、事故・感電・火災の原因となることがあります。



⚠ 注意

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れないでください。



- ・火災や感電の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。



指をはさまれないよう注意

- ・けがの原因となることがあります。

本機を車載用として以外は使用しないでください。



- ・感電やけがの原因となることがあります。

指定の電池以外は使用しないでください。



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

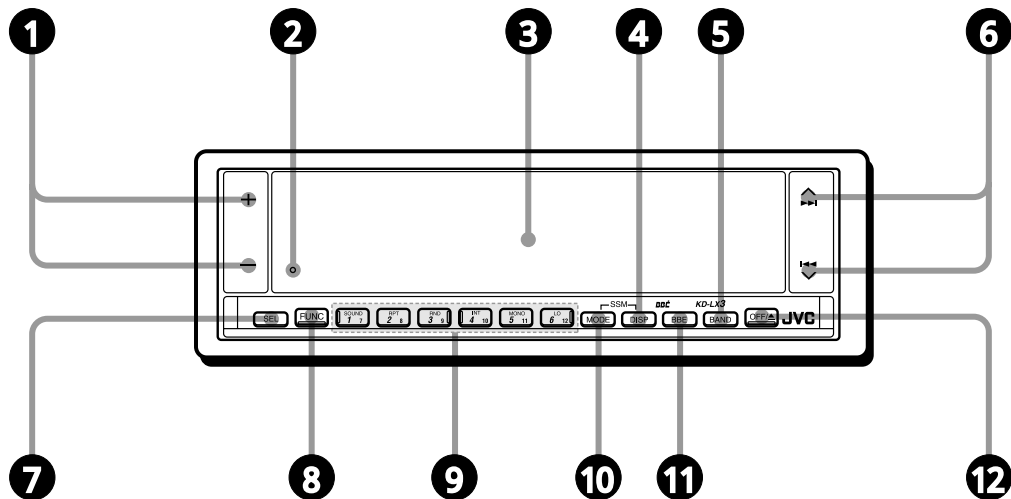
電池を機器内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、機器の表示通りに入れてください。



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

各部の名前と働き(1)

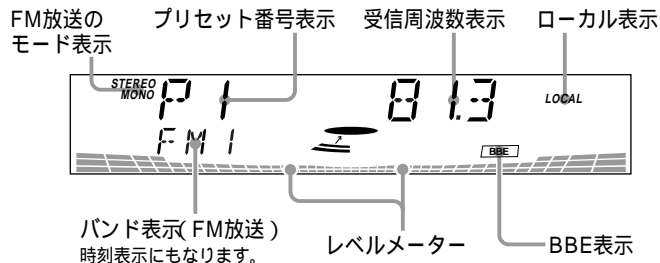
共通部分およびラジオを聞くときの働きです。



1 +、-(アップ/ダウン)ボタン
電子ボリュームのレベルが調節できます。➡15ページ参照

2 リセットボタン
始めて電源を入れたときまたは、どのボタンを押してもうまく動作しなくなったとき、このボタンを押して内蔵のマイコンをリセットします。
このときプリセットした放送局や時計などもリセットされ、初期状態に戻ります。

3 表示窓(ラジオのとき)



4 ディスプレイ DISPボタン

表示窓の表示を変えるとき使います。→23 24 ページ参照
FM放送のときMODEボタンと2秒以上同時に押すと、電波状態の良い放送局を、自動的にプリセットボタンにメモリーすることができます(SSM)。→25 ページ参照

5 BANDボタン

FMとAMの聞きたいバンドを選ぶとき使います。→24 ページ参照
押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2...と順に変わります。

6 選局ボタン

放送局を選局するとき使います。→24 ページ参照
電源を入れることもできます。→14 ページ参照

7 SELボタン

音量・音質調節のモードが選べます。押すごとに

バス BASS → トレブル TREBLE → フェーダー FADER → バランス BAL
ボリューム VOLUME ← ウーハー WOOFER

と変わります。2秒以上押すと、時計合わせなどができます。→19 20 ページ参照

8 FUNCボタン

ソース(音源)を選ぶとき使います。→14 ページ参照

9 プリセットボタン(SOUND 7 7 ~ LO 6 12)

放送局をメモリー(記憶)したり、メモリーした放送局を聞くとき使います。FM、AMともバンドごとに6局ずつメモリーできます。→26 ページ参照

10 MODEボタン

プリセットボタンのモードを変えるとき使います。MODEボタンを押したあと、5秒以内に以下のボタンを押します。

サウンド
 SOUND 7 7 : SOUNDボタン →17 ページ参照
モノラル
 MONO 5 11 : MONOボタン →27 ページ参照
ローカル
 LO 6 12 : LOボタン →27 ページ参照

11 BBEボタン

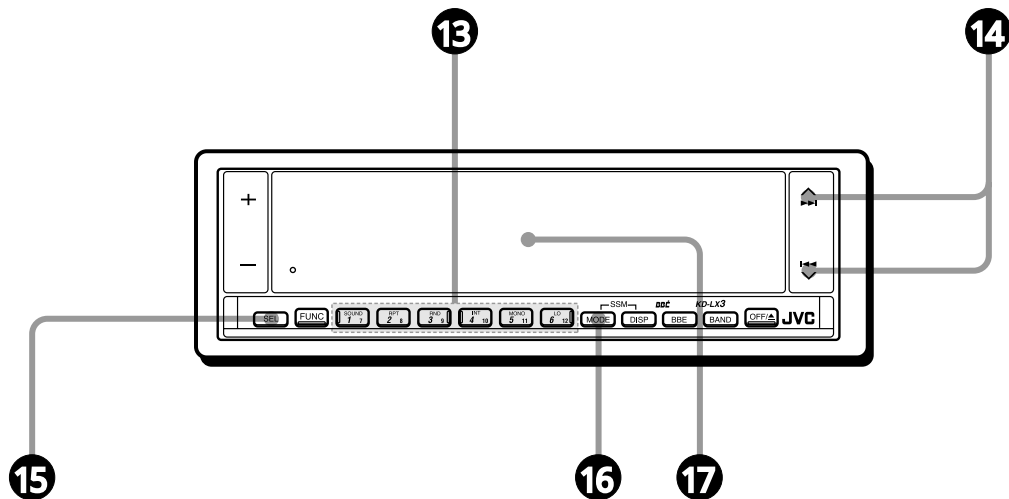
良い音で聞きたいとき「オン」にします。→16 ページ参照

12 OFF/▲(CD取出し)ボタン

電源を切るとき2秒以上押します。→14 ページ参照
CDを出し入れするときは「ポン」と押します。→20 ページ参照

各部の名前と働き(2)

CDを聞くまたは、CDチェンジャー内のCDを聞くときの働きです。



お知らせ

- 本機にCDチェンジャーが接続されていないときは、ファンクションが「CDチェンジャー」にはなりません。
また、本機にCDが入っていないときは、ファンクションが「CD」にはなりません。

13 SOUND 7 ~ 6 10 ボタン

- 「CD」のとき
曲番号ボタン
聞きたい曲を選ぶとき使います。→21ページ参照
- 「CDチェンジャー」のとき
CDダイレクト選択ボタン
CDチェンジャー内の聞きたいCDを直接選ぶとき使います。→30ページ参照

14 左向き、右向き (スキップ/サーチ) ボタン

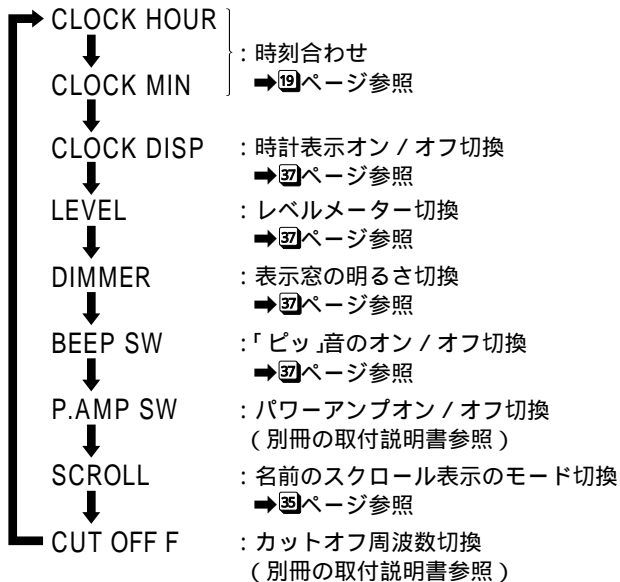
曲の頭出しや早送り、早戻しに使います。→22、30ページ参照

15 SELボタン

2秒以上押しと、お買い上げ時は「CLOCK HOUR」のモードになり時計合わせ(「時」の調節)ができます。このとき Δ (または ∇)ボタンを押すと、下記のモードが選べます。




例は Δ ボタンを押したときです。 ∇ ボタンでは逆に変わります。

次からは選んだモードが優先的に表示されます。



16 MODEボタン

プリセットボタンのモードを変えるとき使います。MODEボタンを押したあと、5秒以内に以下のボタンを押します。

 : RPTボタン	→ 21 29 ページ参照
 : RNDボタン	→ 21 29 ページ参照
 : INTボタン	→ 21 29 ページ参照

17 表示窓

● CD のとき

ランダム演奏表示 曲番号表示 演奏時間表示 ディスク名表示



リピート演奏表示 ソース(音源)表示 演奏中の表示

● CDチェンジャーのとき

ランダム演奏表示 曲番号表示 演奏時間表示 ディスク名表示



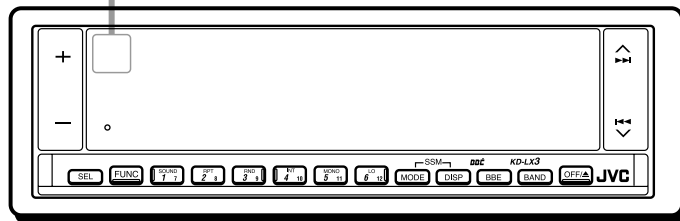
リピート演奏表示 ソース(音源)表示 演奏中の表示
CDチェンジャーのモード表示

リモコンの使いかた

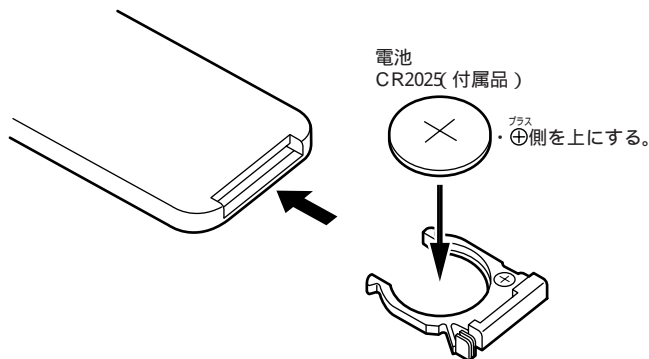
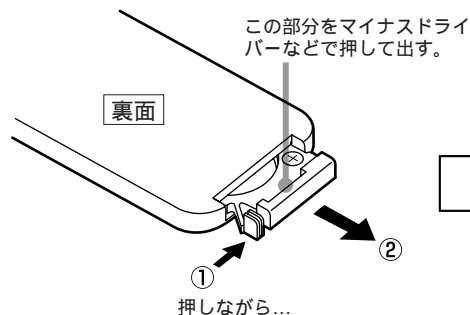
リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約 $\pm 30^\circ$ の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)

リモコン受光部



電池の入れかた



- 電池の交換時期(目安)は...

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

各部の名前と働き

電源 / ATTボタン

1秒以上押すと電源の「オン」「オフ」ができます。「ポン」と押すと音量を一時的に下げることができます。

DISC + / BANDボタン

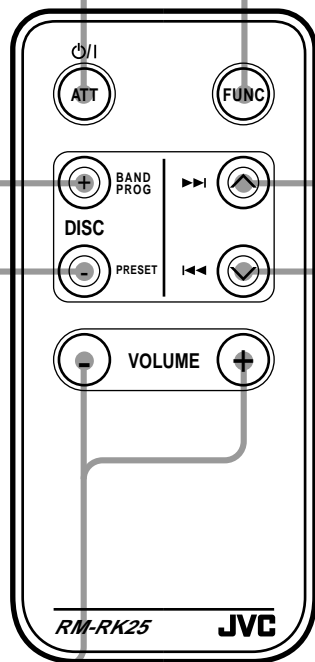
- ・「ラジオ」のとき：バンドが選べます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。

DISC - / PRESETボタン

- ・「ラジオ」のとき：プリセットしてある放送局(P1~P6)の選局ができます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。

VOLUME +、-(音量)ボタン

- 音量の調節ができます。
- ・ + : 音量が上がります。
 - ・ - : 音量下がります。



FUNCボタン

ソース(音源)を選ぶとき使います。押すごとにラジオ → CDチェンジャー → LINE IN → CD

と変わります。ただし本体にCDが入っていないかたたりCDチェンジャーが接続されていないときはラジオ → LINE IN になります。

△、▽ボタン

- ・「ラジオ」のとき：選局(自動選局)ができます。
- ・「CD」と「CDチェンジャー」のとき：曲の頭出しや早送り、早戻しができます。

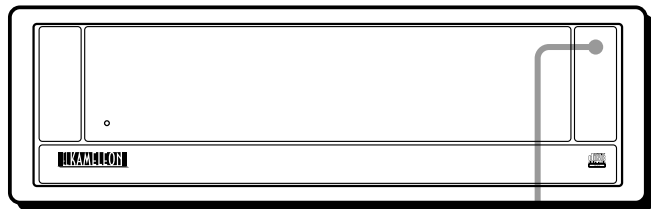
*PROGは...
プログラム

PROGRAMの略字の意味で、テープの走行方向を変えるときに使いますが、本機は対応しておりません。

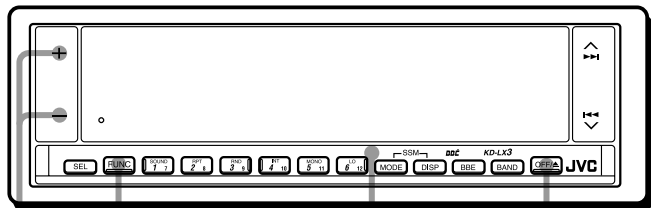
基本操作

番号順に操作します。

- 電源「切」のときは



- 電源が入ったとき



3 2 コントロールパネル
OFF/▲ 取出し)ボタン

- 電源を「切」するには



・2秒以上押す

表示窓に「SEE YOU」が表示されコントロールパネルが内に引き込まれます。車のエンジンキーを「OFF」にしたときも同じです。

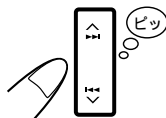
- 音量を一時的に下げるには



・1秒以上押す

表示窓に「ATT」が点滅表示されます。もう一度1秒以上押すと、元の音量に戻ります。

1 ▲(または▼)を押して電源を入れる



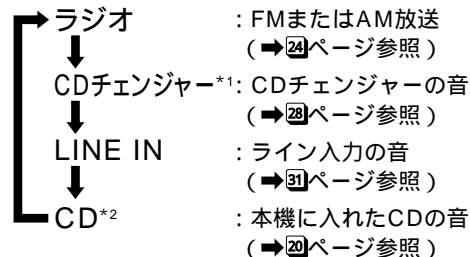
・電源が入り、コントロールパネルが出てきます。

2 FUNCを押してソース(音源)を選ぶ



・「ボン」と押す

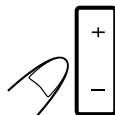
・「ボン・ボン」と押すごとに変わります。



*1 CDチェンジャーが接続されているときのみ

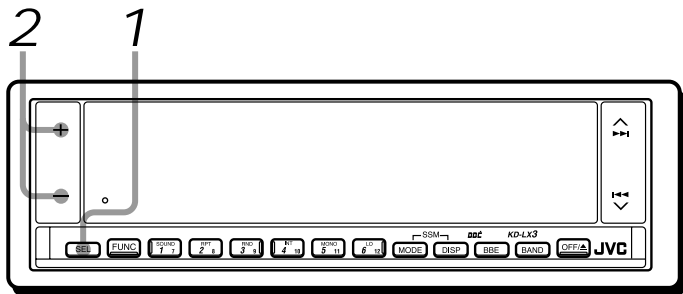
*2 CDが入っているときのみ

3 +、-(音量)で音量を調節する



・ボリュウム
VOLUME 00~VOLUME 50の範囲で調節できます。

音量・音質の調節



一口メモ

- 調節したレベルはメモリー(記憶)されます。電源を切っても次に電源を入れたときは、電源を切る前のレベルが表示されます。
- フェーダー調節は4スピーカー接続のときのみ調節してください。

●初期設定状態と調節範囲

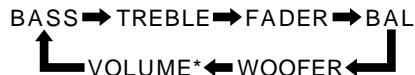
	初期設定	調節範囲
VOLUME	15	00~50
BASS	00(フラット)	-06~+06
TREBLE	00(フラット)	-06~+06
FADER	00(センター)	R(リア)06~F(フロント)06
BAL	00(センター)	L(レフト)06~R(ライト)06
WOOFER	04	00~08

1 SELを「ポン・ポン」と押して調節したいモードを選ぶ



・「ポン」と押す

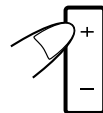
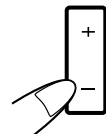
・「ポン・ポン」と押すごとに変わります。



*VOLUME(音量)調節のみのときは、直接+、-(音量)ボタンで調節できます。

2 +、-(音量)でレベルを調節する

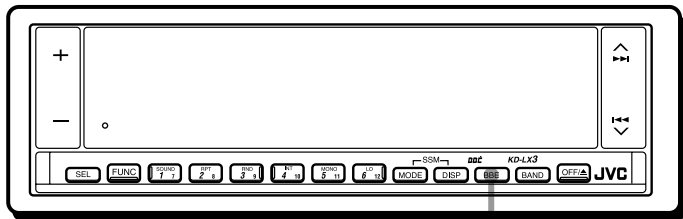
・表示窓のレベルメーター部に調節状態が表示されます。



	+	-
VOLUME (音量)	音量が下がる	音量が上がる
BASS (低音)	低音が減衰する	低音が強調される
TREBLE (高音)	高音が減衰する	高音が強調される
FADER (フェーダー)	フロント出力が下がる	リア出力が下がる
BAL (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる
WOOFER (サブウーハー)	重低音が減衰する	重低音が強調される

音量・音質の調節(つづき)

BBEについて



BBEボタン

BBE

ピッ

・押すごとに「オン
オフ」にでき
ます。

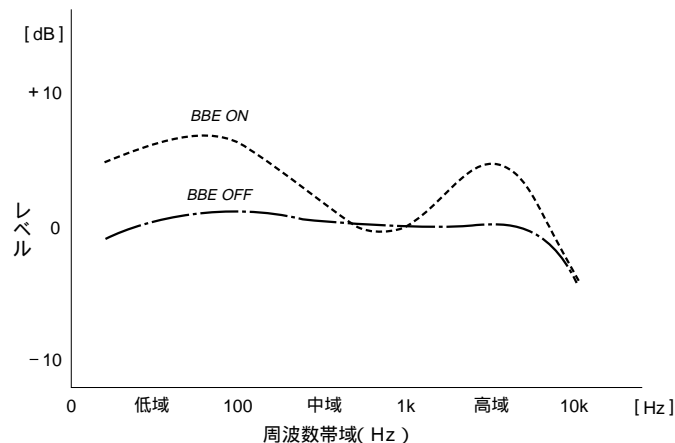
CDやラジオなどの音を良い音で聞きたいときは、BBE「オン」にします。表示窓に **BBE** が表示され、生き生きした音で聞くことができます。お買い上げ時は「オン」に設定されています。万一、ソース(音源)によって音割れするときは、音量を下げてください。



● BBEとは...

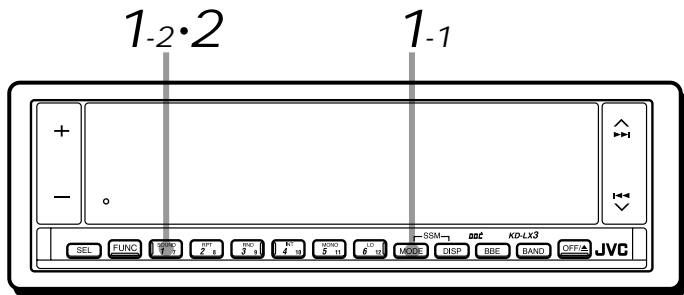
BBEとは、音の立ち上がりを速くすることにより、より自然に音の明瞭度を回復させる技術です。

そのしくみは、可聴帯域を3つに分け低域と中域の音を遅延させることにより、相対的に高域(高調波)が速く耳に到着するようにします。また低域と減衰しやすい高域を少しブーストすることにより、位相補正との相乗効果で音の立ち上がりが速く感じられ、音楽の輪郭がシャープになり生き生きしてきます。



● BBE Sound, Inc. のライセンスのもとに生産しています。

BBE® はBBE Sound, Inc. の商標です。



●初期設定値

	BASS	TREBLE	BBE
SCM OFF	00 (フラット)	00 (フラット)	オン
SCM BEAT	+02	00 (フラット)	オン
SCM SOFT	+01	-03	オフ
SCM POP	+04	+01	オフ

この値はご自分で変えることもできます。➡18ページ参照

サウンドコントロールメモリーの使いかた

サウンドコントロールメモリーを使って、お聞きになる音楽に合わせて音質が自由に選べます。

1 MODE→SOUNDと押す



・表示窓に「MODE」が表示されます。表示中に次の操作をします。

2 SOUNDを押してモードを選ぶ

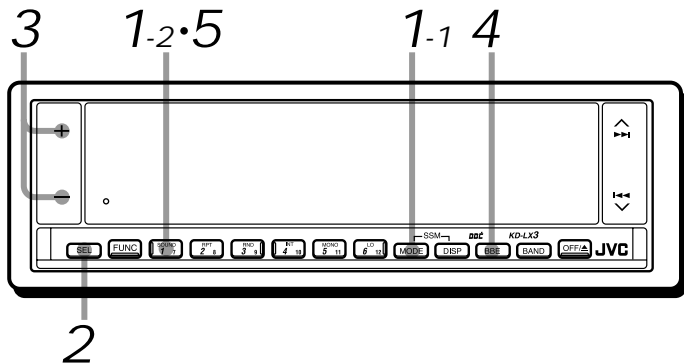


・押すごとに変わります。



音量・音質の調節(つづき)

番号順に操作します。



- サウンドコントロールのメモリー内容を変えるには
ビート、ソフトおよびポップサウンドは、メモリー内容を変える
ことができます。

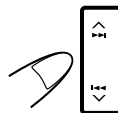
1 調節したいサウンドのモードを選ぶ

➔ ページ参照

2 SELを押して「BASS」または「TREBLE」を選ぶ



3 +、-(音量)でレベルを調節する



・BASSとTREBLEの両方を調節する
ときは、もう一度手順2・3の操作を
します。

4 BBEを「オン」または「オフ」にする



・押すごとに「オン オフ」が選べます。

5 SOUNDを2秒以上押す

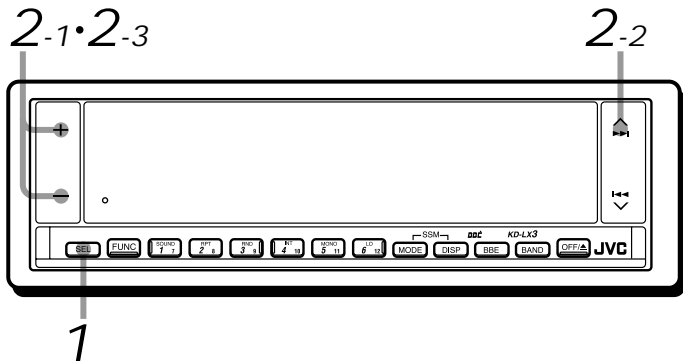
・手順1で選んだサウンドのモードが新たな内容でメモリーされます。

お知らせ

- 手順2～5の操作は、「MODE」表示中に操作してください。5秒以上、間隔を空けるとメモリーできません。
- 調節したサウンドのモードをメモリーしないと、別のサウンドに切換えたとき、初期設定の値に戻ります。

時計の合わせかた

本機に内蔵の時計を現在時刻に合わせておきます。



1 SELを2秒以上押して「CLOCK HOUR」を表示させる



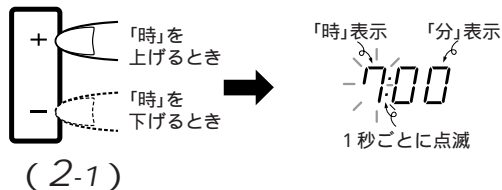
・2秒以上押す。

・「CLOCK HOUR」以外の表示が出たときは、 ボタンを「ボン」と押して選びます。

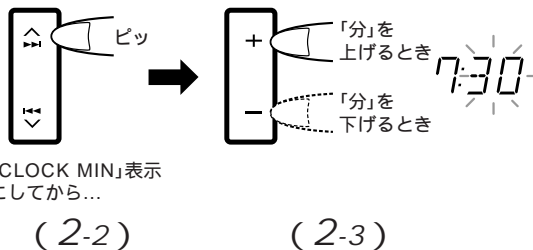
CLOCK HOUR

2 + または - で現在時刻に合わせる
(時刻表示点滅中に +、- ボタンを押します)

- 「時」を合わせるには (12時間表示方式です)
例：7時30分に合わせるとき
「時」表示点滅中に(「CLOCK HOUR」表示にしたあと...)



- 「分」を合わせるには

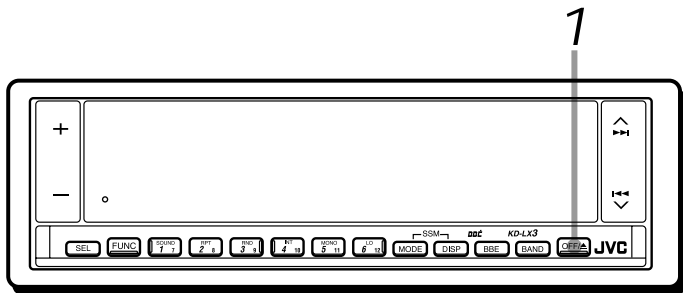


・ + または - ボタンを押し続けると速く進んだり戻ります。

- ・ 時刻合わせが終わったあと、15秒で自動的に元のファンクション表示に戻ります。すぐに戻りたいときはSELボタンを「ボン」と押します。
- ・ バッテリーの交換等でメモリ回路への電源供給がとざれると、時刻の設定は取り消されます。このようなときは、もう一度時刻合わせをしてください。

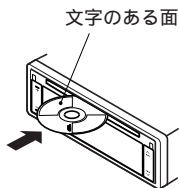
CDを聞く

番号順に操作します。




● 8センチCDの入れかた


8センチCDは、挿入口の中央から軽く押して入れます。



● CDを入れると...

ソース(音源)は、自動的に「CD」になり演奏がスタートします。またCD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。

● 文字のある面に  のマークが入っている、JIS規格に合ったCDをお使いください。

CDを取り出した後、 ボタンを押すと、コントロールパネルが出ます。

1 OFF/▲を「ポン」と押す



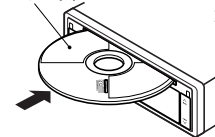
ピッ

・「ポン」と押す

- ・コントロールパネルが中に入り、CDの挿入口が現われます。(1秒以上押すと電源が切れます)
- ・CDを入れると、再びコントロールパネルが出てきます。

2 文字のある面を上にしてCDを入れる


・文字のある面



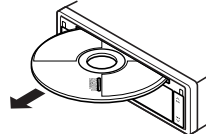
- ・ソース(音源)が「CD」になり曲数と演奏時間を表示したあと1曲目から演奏が始まります。

01
曲番号

0003"
演奏経過時間

- CDを取り出すときは、OFF▲(CD取出し)ボタンを「ポン」と押します。エンジンキーが「OFF」のときは、 ボタンを押すとCDが取り出せます。CDが出てきたのち電源が切れます。

(取らずにそのままにしておく
と、15秒後に自動的に中引き
込まれます)

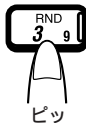


ダイレクト演奏

演奏中に聞きたい曲に合わせて曲番号ボタンを押すと、すぐその曲に移り演奏がスタートします。



- 1～6曲目を聞くときは...
聞きたい曲番号のボタンを「ポン」と押します。
例：3曲目のとき



- 7～12曲目を聞くときは...
聞きたい曲番号のボタンを1秒以上押します。
例：11曲目のとき



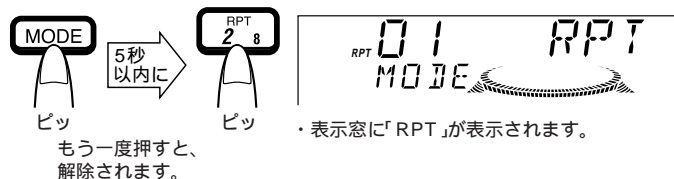
- 13曲目以上は、演奏中に⏮ボタンを押して聞きたい曲番号を選びます。⇒24ページ「スキップ演奏」参照

● 音量調節について

CDの演奏は、無音状態での雑音がほとんどありません。気づかずに大きめの音量に調節すると、思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損する恐れがあります。電源を切る前に音量を下げておき、演奏がスタートしてから適度な音量に合わせてください。

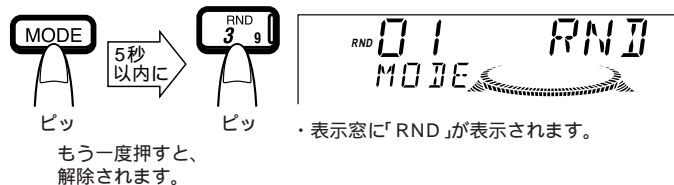
1 曲リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲だけをくり返して聞くことができます。



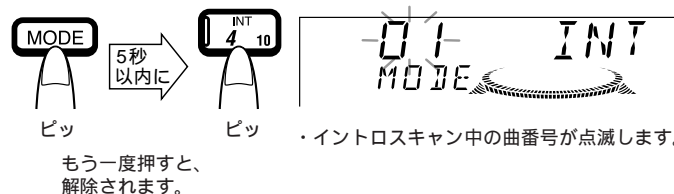
ランダム演奏

演奏中のCDを、収録してある順に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。



イントロスキャン

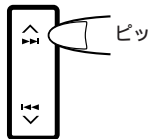
イントロスキャン中は、曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったらイントロスキャンを解除します。



CDを聞く(つづき)

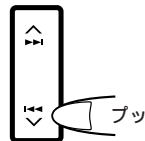
スキップ演奏(曲の頭出し)

- 演奏中に次の曲を聞くには...



・「ポン」と1回押すごとに次の曲の曲へと
移り、頭から演奏が始まります。

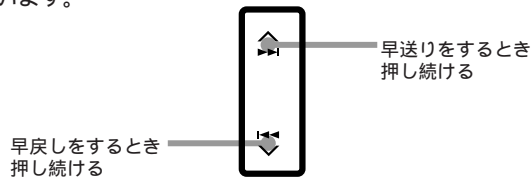
- 演奏中に前の曲を聞くには...



・「ポン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻
ります。もう一回押すと前の曲の頭に戻り、
演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

- 演奏中のCDの好みの位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。



サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。

このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。

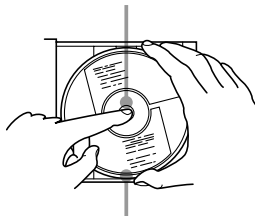
指を離すと普通の演奏に戻ります。

お願い

- CDを保管するときは
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの
上などは避けて保管してください。

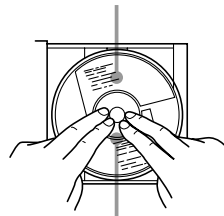
- ケースからの出し入れ

センターホルダーを押さえ...



演奏面(虹色に光っている面)
に触れないように持って出す。

文字のある面を上にして...



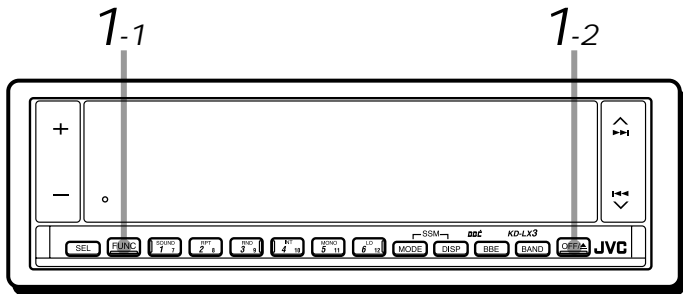
上から押さえて入れる。

- ラベル面に紙を張ったり字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。

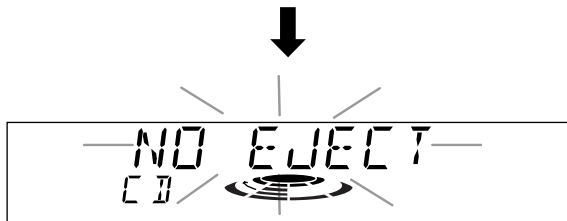
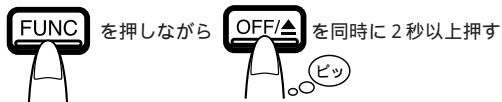


- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対
に使用しないでください。シェイプCDを入れると、故障の原因と
なります。
- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の
原因となります。

CDテキストについて



- CDを他の人が取り出せないようにするには(盗難防止)



「NO EJECT」が表示され、CDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると、「EJECT OK」が点滅表示され、CDの取り出しができます。

CDテキストについて

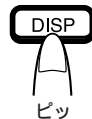


「CDテキスト」は、今までの音楽CDにアルバムタイトルや曲名、アーティスト名などの文字情報を追加した、音楽CDの新しい機能です。

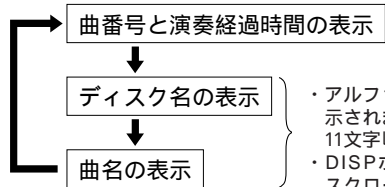
本機にCDテキスト対応のCDチェンジャー：CH-X120Q(別売り)を接続したり、本機でCDテキスト対応のCDを演奏するとアルファベットや数字で「CDテキスト」データを表示します。

- CDテキストの情報を見るには

CDテキスト対応のCDの演奏がスタートすると、表示窓に「ディスク名⇒曲名⇒曲番号と演奏経過時間」が順に表示されます。DISPボタンを「ポン・ポン」と押すと、ディスク名などを表示させることができます。



・押すごとに変わります。



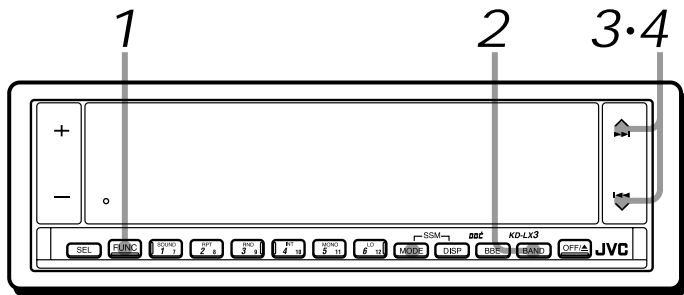
・アルファベットや、数字で10文字が表示されます。11文字以上はスクロール表示されます。
・DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。

ラジオを聞く

番号順に操作します。

マニュアル選局

.....電波の弱い放送局を受信したり、聞きたい放送局の周波数が分かっているときなどに使います。
本機は、FMステレオ放送とAMモノラル放送に対応しております。(AM放送をステレオで聞くことはできません)



● マニュアル選局のモードは...

選局の操作から5秒後に、マニュアル選局のモードは自動的に解除されます。→シーク選局(24ページ参照)のモードになります。

ご注意

- 交通安全のため、運転中は本機を操作しないでください。必ず停車時に操作してください。

1 FUNCを押してソース(音源)を「ラジオ」にする

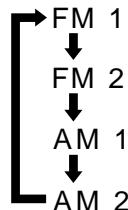


- ・表示窓にバンドとプリセット番号、周波数が表示されます。
(バンド表示は、5秒後に時刻表示に変わります)

2 BANDを押してバンドを選ぶ

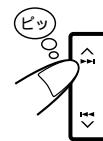


- ・押すごとに変わります。



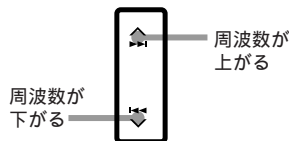
(AM放送はモノラル受信です)

3 上または下を押す



- ・表示窓に“M”が点滅表示され、マニュアル選局のモードになります。

4 上または下で放送局を合わせる



	受信周波数
FM放送	76.0 ~ 90.0MHz
AM放送	522 ~ 1,629kHz

- ・1回押すとFMは0.1MHz、AMは9kHzずつ移動し、押し続けると連続して変わります。

SSM(ストロングステーションメモリー)の使いかた

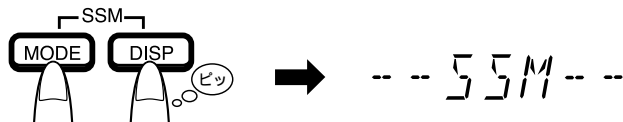
チューナーが自動的に電波の強いFM放送の放送局を、周波数の低い順に6局までメモリーしてくれます。(AM放送はできません)
旅行先などで放送局を探すときに便利です。

●操作例：FM1にメモリーするとき

1 BANDを押して「FM1」を選ぶ



2 MODEとDISPを同時に2秒以上押す



同時に2秒以上押す。

・チューナーが放送局を探し、自動的に電波の強い放送局を、周波数の低い順に、プリセットボタンの [7] ~ [4] にメモリーしていきます。(前のメモリー内容は取り消されます)

3 放送局が6局メモリーされるとプリセット1の表示になります

・プリセットボタン([7] ~ [4])を押して聞きたい放送局を選びます。
(放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります)

お知らせ

●電波状態が悪いと、放送局がメモリーされないこともあります。


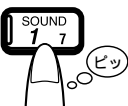
ラジオを聞く(つづき)

番号順に操作します。

プリセット選局

本機はPLLシンセサイザーに電子選局と、周波数を記憶しておくメモリー回路が内蔵されていますので、いったんメモリーしておけばあとはプリセットボタンを押すだけで正確な受信ができます。

- 操作例：FM放送の81.3MHzにある局をプリセットボタン(7)にメモリーするには...

1 BANDで「FM1」を選ぶ	→	FM 1
2 ▲または▼で希望の放送局に合わせる		
3 プリセットボタンの「  」を2秒以上押す		
	→	MEMO ↔ FM 1
		・「MEMO」とバンドが交互に表示されメモリーされます。

- ・バンドごとに6局ずつメモリーできますので、上記の操作例を参考にお好きな順序でプリセットボタンにメモリーしてください。AM放送の場合でも同じ手順でメモリーできます。

ご注意

- バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れるとメモリーした局や時刻の設定は、すべて取り消されます。このようときはもう一度メモリー操作と、時刻合わせをしてください。

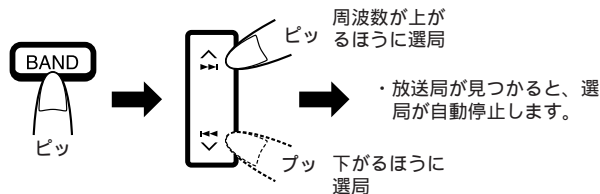
シーク選局(自動選局)

「M」が表示窓に表示されていないときは、▲または▼の選局ボタンを「ボン」と押すだけでチューナーが自動的に放送局を探してくれます。

これをシーク選局(自動選局)といいます。

希望する放送局の周波数を正確に覚えていないときなどにお使いください。

例：FM放送のとき



- ・ FM 1 または FM 2 を選ぶ。

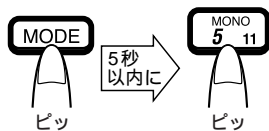
「ボン」と押して離す。

お知らせ

- シーク選局(またはマニュアル選局)中にプリセット済みの放送局を受信すると、そのプリセット番号の数字が表示されます。これにより放送局がどのボタンにメモリーされているのかが分かります。

モノラル

MONOボタンの使いかた



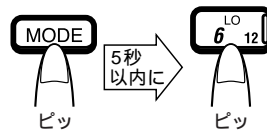
もう一度MONOボタンを押すと「STEREO」に戻ります。

FMステレオ放送受信時に電波状態が悪くて雑音が多いとき、このボタンで切換えます。表示窓に「MONO」が表示されモノラル受信モードになり、聞きやすくなります。

電波状態が良好になったら「^{ステレオ}STEREO」表示に戻してお使いください。

ローカル

LOボタンの使いかた



FM放送でシーク選局やSSMでメモリーするとき使います。「^{ローカル}LOCAL」を表示させると、電波の弱い放送局を飛ばして選局します。

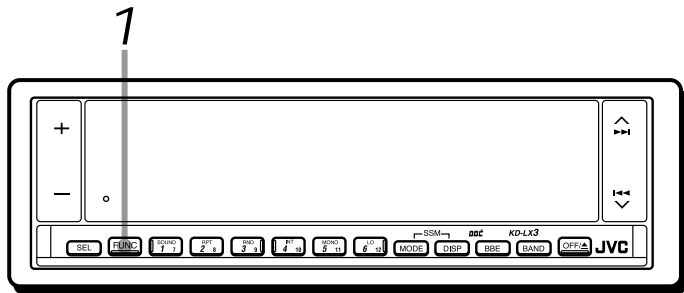
お知らせ

- LOボタンは、FM放送に限り機能します。AM放送には動きません。

CDチェンジャーのCDを聞く

番号順に操作します。

全曲演奏 - マガジンにはあらかじめCDを入れておいてください。 -



1 FUNCを押してソース(音源)を「CDチェンジャー」にする



・CDチェンジャーを演奏中に電源を切ったときは、電源が入ると自動的に演奏が始まります。



・CDチェンジャーは、自動的に全マガジン内のCDのくり返し演奏になります。

お知らせ

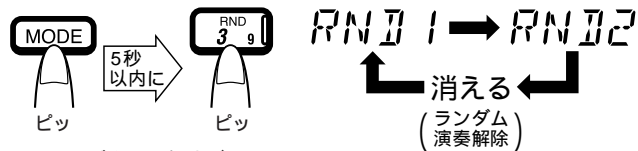
- CD演奏中にディスク番号を知るにはDISPボタンを押します。時刻表示部に約5秒間ディスク番号が表示されます。

- CDチェンジャーの演奏を途中でやめるにはFUNCボタンを押して他のソース(音源)に切替えます。CDチェンジャーの演奏がとまります。

ランダム演奏

ランダム

- ・RNDボタンを使うとCDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



- ・RNDボタンを押すごとに次のように動作します。

- ・ **RND 1** : 演奏中のCDでランダム演奏をします。終わると次のCDでランダム演奏になります。(RNDが表示窓に点灯しています)
- ・ **RND 2** : マガジン内の全てのCDでランダム演奏をします。(RNDが表示窓で点滅しています)

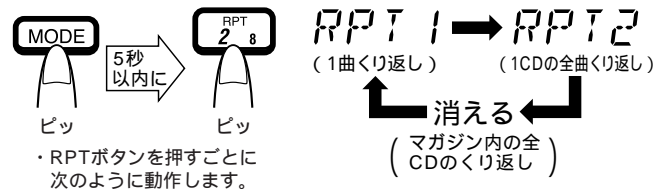
お知らせ

- MODEボタンを押したあとは、5秒以内...MODE表示が表示中...に次の操作をしてください。消えてしまったときは、もう一度MODEボタンを押してから次のボタンを押してください。

リピート演奏(くり返し演奏)

リピート

- ・RPTボタンを使うと演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



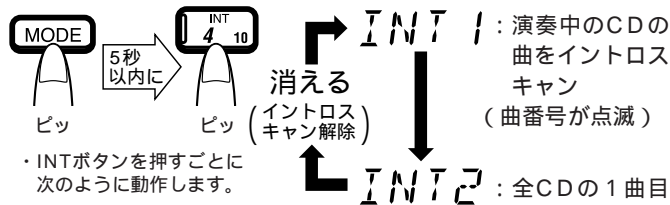
- ・RPTボタンを押すごとに次のように動作します。

- ・ **RPT 1** : 演奏中の1曲をくり返して聞くことができます。(RPTが表示窓に点灯しています)
- ・ **RPT 2** : 演奏中のCDの全曲をくり返して聞くことができます。(RPTが表示窓に点滅しています)

イントロスキップ

イントロ

- ・INTボタンを使うと聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏します。



- ・INTボタンを押すごとに次のように動作します。

INT 1 : 演奏中のCDの曲をイントロスキップ
(曲番号が点滅)

INT 2 : 全CDの1曲目をイントロスキップ
(ディスク番号が点滅)

CDチェンジャーのCDを聞く(つづき)

CDダイレクト選択ボタンの使いかた

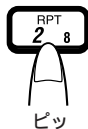
聞きたいCDが分かっているときは、CDダイレクト選択ボタンを使うと便利です。CDが選ばれると、選んだCDの1曲目から演奏が始まります。



聞きたいCDが入っているディスクトレイの番号に合わせてボタンを押します。(マガジンの下から順に1・2・3...となっています)

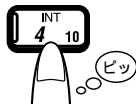
- ・ 1 ~ 6 枚目を選ぶときは：ボタンに表示されている番号を目安にボタンを「ポン」と押しします。

例：2枚目のとき



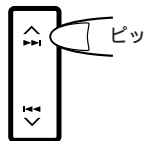
- ・ 7 ~ 12枚目を選ぶときは：ボタンに表示されている番号を目安にボタンを1秒以上押しします。

例：10枚目のとき



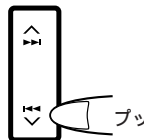
スキップ演奏(曲の頭出し)

演奏中に次の曲を聞くには



- ・ 「ポン」と1回押すごとに次の曲次の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

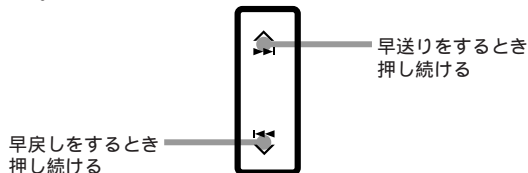
演奏中に前の曲を聞くには



- ・ 「ポン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう1回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

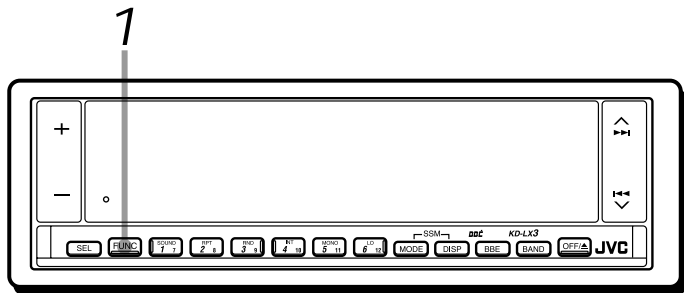
- ・ 演奏中の曲の途中の位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。



サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。指を離すとふつうの演奏に戻ります。

他の機器の音を聞く

番号順に操作します。



1 FUNCを押してソース(音源)を「LINE INPUT」にする



→ LINE INPUT

・ソース(音源)の名前は接続した機器名に合わせて変えることができます。→24ページ参照

2 接続した機器を演奏状態にする

・接続した機器に音量調節があるときは、できるだけ大きく調節しておきます。

CDチェンジャーのCDを聞く(つづき)・他の機器の音を聞く

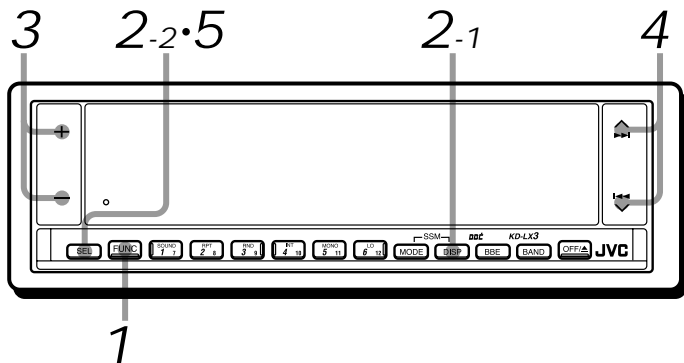
CDの名前や放送局名などを表示させる

表示の概要

CD、放送局名およびLINE入力の機器名などを表示することができます。

ソース(音源)	表示する名前	文字数
CD*/CDチェンジャー*	ディスク名	1枚当たり最大32文字を40枚分まで記憶
ラジオ	放送局名	30局分を最大10文字ずつ
LINE	LINE IN端子に接続した機器の名前	最大10文字

* CDテキストの表示を変えることはできません。



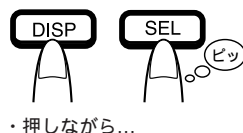
名前の入力のかた(修正・削除)

名前を入力するときは、次の手順で入力します。入力した名前を修正したり、削除するときも同じ操作でできます。

1 名前をつけたいソース(音源)を選ぶ

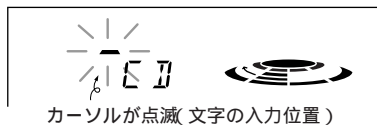
・ CD/CDチェンジャー、ラジオまたはLINE(ライン入力)のいずれかを選びます。

2 DISPを押しながらSELを同時に2秒以上押す



・ 押しながら...

例：CDに名前をつけるとき



30秒以内に

33 ページへ続く

3 +(または-)で文字を選ぶ



- ・英大文字、数字、記号で入力できます。詳しくは、右の「文字配列表」参照
- ・+側を押すと、A⇒B⇒C...の順に-側を押すと、>⇒<⇒/...の順に選べます。
- ・(空白)を選ぶとスペース(空き)を入れることができます。文字を選ぶ前(カーソル点滅中)に⇨を押してもスペース(空き)を入れることができます。
- ・押し続けると連続して変わります。

4 ⇨を押して確定する



- ・カーソルが移動し確定されます。手順3と4をくり返して名前を入力します。さらに⇨を押すとスペース(空き)を入れることができます。
- ・間違えたときは⇩でカーソルを戻し、上書きします。(空白)を選ぶと消去できます。

5 SELを押す



- ・入力した名前が表示されます。

●文字配列表

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	-	/	<	>
(空白)									

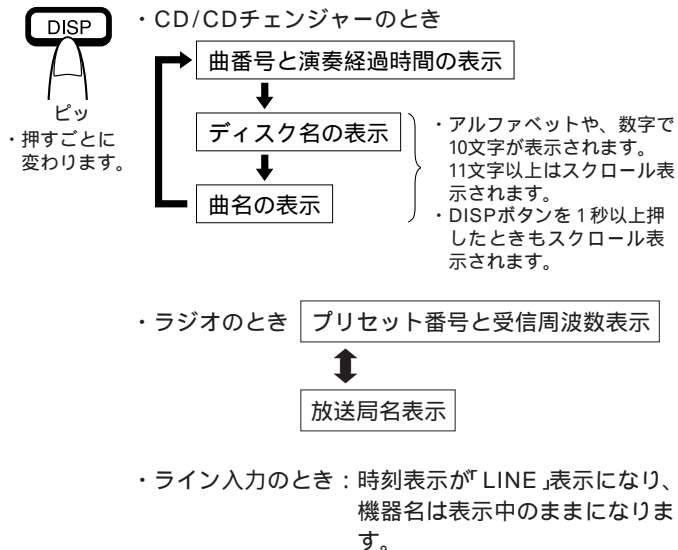
お知らせ

- ・41枚目のCD名または31局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。

CDの名前や放送局名などを表示させる(つづき)

ディスク名や放送局名を表示させるには

CDや放送を聞いているときディスク名や放送局名を表示させるときは、DISPボタンを使います。入力した名前が表示されます。



お知らせ

- 放送局名が記録されていないときDISPボタンを押すと、「NO NAME」が表示され「ピッピッピッ」音が出ます。また、ディスク名や曲名が記録されていないときは、「NO NAME」が表示されます。

名前のスクロール表示のモードを変えるには

11文字以上の名前は、ディスク名または曲名に切換えたとき1回スクロール表示されます。スクロール表示のモードは変えることができます。

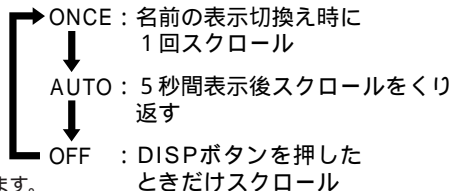
1 SELを2秒以上押す

・お買い上げのときは「CLOCK HOUR」が表示されます。

2 または を「ポン・ポン」と押して「SCROLL」を選ぶ

スクロール

3 +(または-)を押してスクロールのモードを選ぶ

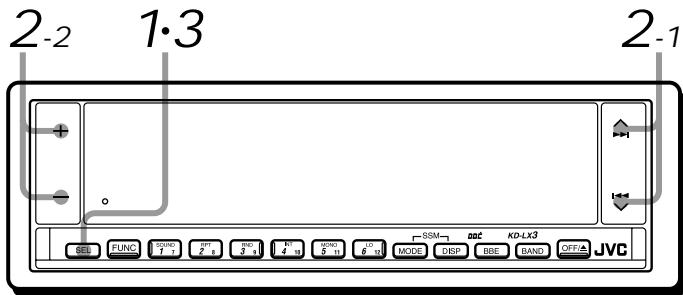


・-側を押すと逆を選びます。

4 SELを押す

・元のファンクション表示に戻ります。

PSM(Preferred Setting Mode)について



1 SELを2秒以上押す

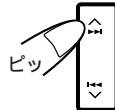


・お買い上げ時は「CLOCK HOUR」が表示されます。右記のいずれかを選んで設定を変えたときは、その項目が表示されます。

15秒以内に

2 (または-)でPSMの項目を選ぶ

2-1



・(または-)を押すと、逆に選べます。



お知らせ

●2-1と2-2の操作は「PSM」表示中に操作してください。

2-2 +(または-)で設定内容を変える

→ 19, 20ページ参照

3 SELを「ポン」と押す

- **CLOCK DISP** (時計表示切換)
 - クロック ディスプレイ
 - **CLOCK ON** : 時計表示 (お買い上げの状態)
 - +側を
押す ↓ -側を
押す
 - **CLOCK OFF** : ソース名の表示 (ラジオのときは
バンド表示)

- **LEVEL** (レベルメーター切換)
 - レベル
 - **NORMAL** : 通常のレベルメーター
(お買い上げの状態)
 - ノーマル ↓
 - **HIGHWAY** : 高速道路の走行をイメージした点灯
 - ハイウェイ ↓
 - **SIDE** : 横の上まで点灯
 - サイド ↓
 - **RACE** : 自動車レースをイメージした点灯
 - レース ↓
 - **LEVEL OFF** : 音量レベルを表示 (レベルメーター
は「オフ」)
 - レベル オフ ↓
 - **ALL OFF** : 消灯
 - オール ↓

- **DIMMER** (表示窓の明るさ切換)
 - ディマー
 - **AUTO** : 車のイルミネーションと連動
(車両のライトを「ON」にすると、
表示窓は暗くなります)
あらかじめ **イルミネーションコード** を車
両側のイルミ電源に接続しておきます。
 - ↓
 - **OFF** : ディマー「オフ」
 - ↓
 - **ON** : 通常のディマー「オン」
(表示窓が暗くなる)

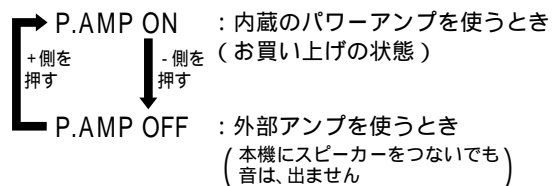
- **BEEP SW** (「ピッ」音 オン/オフ切換)
 - ビープ スイッチ
 - **BEEP ON** : ボタンを押したとき「ピッ」音が鳴りま
す。(お買い上げの状態)
 - +側を
押す ↓ -側を
押す
 - **BEEP OFF** : 「ピッ」音は鳴りません。

お知らせ

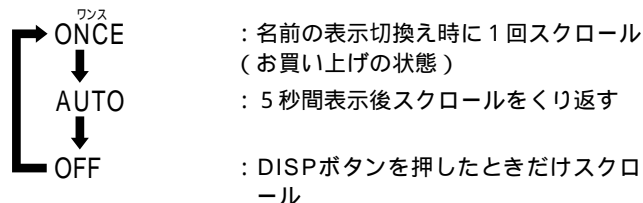
- 操作は、+側を押して設定した場合です。-側を押すと逆になります。ただし、CLOCK DISPおよびBEEP SWとP.AMP SWの場合は、-側を押すと「ON → OFF」に変わります。+側は「OFF → ON」に戻すとき押します。

PSM(Preferred Setting Mode)について(つづき)

- パワー アンプ スイッチ
- P.AMP SW(パワーアンプ オン/オフ切換)
内蔵のパワーアンプの代わりに外部アンプを使用するときのみ

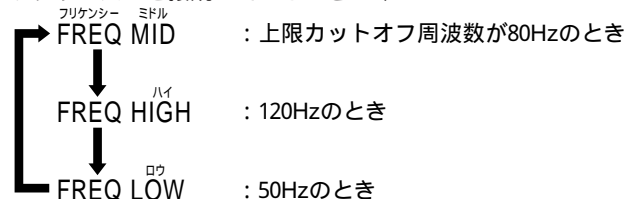


- スクロール
- SCROLL(名前のスクロール表示のモード切換)



- カット オフ フレクシー
- CUT OFF F(カットオフ周波数*切換)

サブウーハーを接続しているときのみ



*カットオフ周波数とは...

平坦な周波数帯域から3dB減衰する周波数のこと

正しくお使いいただくために

- 本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型バスなどの24V車には使用できません。
- スピーカーはアンプの出力(フロント/リア40W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4～8のものをお使いください。
- 次のような場所は避けて取り付けてください。
 - ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
 - ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気の多い所
 - ・ほこりの多い所
- 安全運転のために...
 - ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
 - ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
- 車内の温度は...

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲：0 ～ +40)
- バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

● 結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコンを入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

● 外国での使用は...

本機は日本国内用です。外国での使用はできません。

● スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別紙の取付説明書の通りになしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの⊖側が車の金属部に接続されていたり、⊖側同士が接続されていると故障の原因となります。

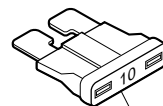
*BTL：Balanced Transformerlessの略

2組でパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

● ヒューズの交換について

本機のヒューズは10A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください

また、10Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



ヒューズ(10A)

こんなときは

CDレシーバーの具合が悪いとき「故障かな?」と思ったら...

修理を依頼される前に、まず次の項目をお確かめください。

それでも直らないときは故障によることが考えられますので、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	・雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作しているため。	・リセットボタンを押して内蔵のマイコンをリセットする。 (時計や放送局などのメモリーが取り消され、初期状態に戻ります)
OFF/▲(CD取出し)ボタンを押してもCDの取り出しができない。 (「NO EJECT」が点滅表示される)	・CDが盗難防止状態になっている。	・⏏ボタンを押してコントロールパネルを出し、次にFUNCボタンを押しながらOFF/▲(CD取出し)ボタンを同時に2秒以上押す。 ↓ ・「EJECT OK」が点滅表示されたらもう一度OFF/▲(CD取出し)ボタンを押す。
演奏が始まらない。	・CDが裏返しに入っている。 「- - CD PLAY」表示のあと出てくる。	・文字のある面が上になるように正しく入れる。
	・CDが汚れている。	・柔らかい乾いた布で演奏面を清掃する。
AM放送がうまく受信できない。	・車両のオートアンテナが接続されていない。	・ リモート出力 コードを車両のオートアンテナに接続する。

症 状	原 因	処 置
スピーカーから音が出ない。	・「P.AMP OFF」に設定されている。 <small>パワー アンプ オフ</small>	・「P.AMP ON」に切換える。 ➡36ページ参照
「NO DISC」が表示される。	・ CDチェンジャー内のマガジンにCDが入っていない。	・ CDを入れる。
「RESET 8」が表示される。	・ CDチェンジャーとの接続が外れている。	・ CDチェンジャーとしっかり接続する。
「RESET1～RESET7」のいずれかが表示される。	_____	・ CDチェンジャーのリセットボタンを押す。
表示窓に「DEMO」が表示され、勝手にレベルメーターが点灯したり電源「切 入」になる。	・ 店頭展示用のデモモードになっている。	・ DISPボタンを押しながらⒶボタンを同時に2秒以上押してデモモードを解除する。

● 次のような症状のときは...

- ・ CDを入れたときCD LOADING表示のまま演奏が始まらない。
- ・ OFF/▲(CD取出し)ボタンを押してもCD EJECT表示のままCDが出てこない。



● このようなときは...

- Ⓐボタンを押しながりリセットボタンを押し、先にリセットボタンを離します。CDが出てきます。
- ・ このときCDを落とさないようにしてください。
- ・ 時計や放送局などのメモリーが取り消され初期状態に戻ります。それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証書とアフターサービス

●保証書の記載内容ご確認と保存について

この製品には、保証書が添付されております。

保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間について

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理致します。

その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料にて修理させていただきます。

●補修用性能部品の保有期間について

当社はこのカーステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低6年保有しています。

この期間は通産省の指導によるものです。

●アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げの販売店、または添付の「サービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

1. まずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、再度お調べください。
2. それでも具合の悪いときは、お買い上げの販売店に次のことをお知らせください。

・ JVC CDレシーバー：KD LX3

・ お名前とおとこ

・ 電話番号

・ 故障の状態(詳しく): 例 CDの演奏音が出ない。

主な仕様

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CDプレーヤー部

型式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

信号読み取り方式：非接触光学式読み取り

(半導体レーザー、 $\lambda = 780\text{nm}$ 使用)

エラー訂正方式：クロスインターリーブリードソロモンコード

チャンネル数：2チャンネル

周波数特性：5 Hz ~ 20kHz

ダイナミックレンジ：98dB

S/N比：99dB

ワウ・フラッター：測定限界以下

チューナー部

アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター × 1

FMチューナー部

受信周波数：76.0MHz ~ 90.0MHz

実用感度：12.1dB μ (1.1 μ V/75 μ)

チャンネルセパレーション：30dB(1kHz)

AMチューナー部

受信周波数：522kHz ~ 1,629kHz

実用感度：20 μ V

オーディオアンプ部

最大出力：フロント/リア 40W + 40W(4 Ω 、1kHz)

定格出力：フロント/リア 16W + 16W(40Hz ~ 20kHz、0.8% T.H.D.)

適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω で使用可能)

入力端子：DINジャック(8ピン) × 1
LINE IN端子(1系統) 1.5V/20k

出力端子：LINE OUT端子(2系統) 2.0V/1k
SUBWOOFER(1系統)
スピーカーコード(2系統、ギボシ型)

電源部・その他

電源電圧：DC14.4V(11 ~ 16Vで使用可能)
マイナスアース車用

時刻表示：12時間表示法

外形寸法：幅188mm × 高さ58mm × 奥行168mm

質量：約1.7kg(付属品含まず)

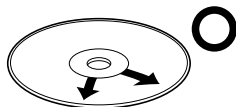
付属品

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| ・リモコン(RM-RK25)..... 1 | ・皿ネジ(M5 × 6mm)..... 4 |
| ・電池(CR2025)..... 1 | ・プラグナット..... 1 |
| ・接続コード(16ピンコネクター)... 1 | ・スリーブ..... 1 |
| ・ネジ(M5 × 20mm)..... 1 | ・金具(スリーブ取り外し用)... 2 |
| (M5 × 6mm)..... 4 | ・化粧プレート..... 1 |

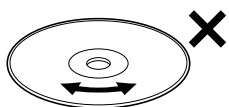
お手入れ

CD(コンパクトディスク)のお手入れ

本機に入れる前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。



必ず内側から外側へ



連続したキズは音飛びの原因になります。

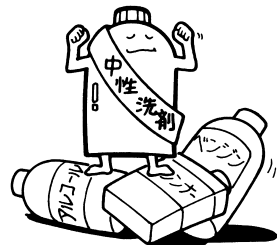
- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

本機の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などでからぶきしてください。
汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

日本ビクター株式会社

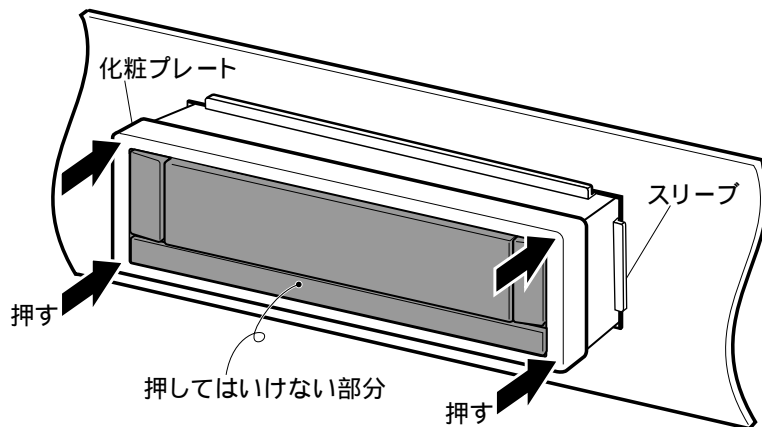
お問い合わせ先

モバイルエレクトロニクス事業部

〒371 8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1 ☎ ダイヤルイン(027)254 8926

● 欧州車へ取り付ける場合

スリーブに本体を差し込むときは、図のように化粧プレートの四角を押して入れてください。



誤ってパネル面(図のアミカケの部分)を強く押すと、コントロールパネルの開閉ができなくなるなど故障の原因となります。